

## 「世界の記憶」国内申請者向けワークショップ（案）

### 1. ワークショップの趣旨

「申請書の書き方」ではなく、「申請の準備」において検討すべきこと（審査委員会に提出にするまでの想定されるプロセス、申請する記録物の構成や関係機関との協議）や考えうる課題等を学んでいただくことを目的とした構成とする。

### 2. 事前課題

- (1) 「一般指針」「MOWCAP登録プロセス」及び「申請の手引き」の通読
- (2) 事務局側でピックアップした資料から関心のある記録物を選び、「模擬申請書」（世界的／地域的重要性等5項目程度に絞ったもの）を記載して提出（箇条書き可）
  - ・ 資料の理解に時間を費やさずに済むよう、日本史学習者であればおおよそ知っていることが期待されるもの。
  - ・ 潜在的推薦候補のようなとらえられ方で特に民間団体にご迷惑をおかけしないよう、国立機関に所蔵されているものとし、さらに事前に所蔵機関にご連絡した上で使用するものとする。

### 3. グループ分け

- (1) 2.(2)で参加者が選んだ所蔵資料によってグループ分け
- (2) 1グループにつき5～6名で構成

### 4. 当日の流れ／タイムテーブル

- (1) グループとして模擬的に申請書

記載項目：「由来／出所情報」、「一義的基準（世界的／地域的重要性）」、「相対的基準」、「重要性の説明」、「関係者との協議」のみ。

\*申請にあたって検討すべきことやプロセスを学ぶことが趣旨であるため、「申請書」の記載内容（当該資料の歴史的背景等）の正確性は問わない。

- (2) グループ発表

- ・ 申請書を書くにあたって議論になったポイントとその解決
  - ・ 世界的（地域的）重要性の構成
  - ・ 申請準備にあたって必要と考えられること
  - ・ 申請書を書く上で苦労した点
- などをまとめ、発表

内容	所要時間
アイスブレイク：自己紹介など	10分
申請の構成の検討	40分
申請書（世界的重要性）記載	1時間30分
グループ発表 （max: 5グループ）	発表時間： 15分／group
まとめ	